

2. 社会支出と国際比較

(1) 政策分野別社会支出

2016年度の社会支出を政策分野別にみると、「高齢」が最も多く（46.6%）、次いで「保健」（34.0%）、「家族」（5.8%）、「遺族」（5.5%）、「障害、業務災害、傷病」（4.5%）、「他の政策分野」（1.7%）、「失業」（0.7%）、「積極的労働市場政策」（0.6%）、「住宅」（0.5%）の順となっている。

表4 政策分野別社会支出

社会支出	2015年度	2016年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
合 計	1,182,781 (100.0)	1,196,384 (100.0)	13,604	1.2
高齢	553,793 (46.8)	557,549 (46.6)	3,756	0.7
遺族	66,775 (5.6)	65,779 (5.5)	△ 997	△ 1.5
障害、業務災害、傷病	52,601 (4.4)	53,969 (4.5)	1,368	2.6
保健	405,288 (34.3)	406,711 (34.0)	1,423	0.4
家族	65,558 (5.5)	69,747 (5.8)	4,189	6.4
積極的労働市場政策	7,707 (0.7)	7,528 (0.6)	△ 179	△ 2.3
失業	9,285 (0.8)	8,649 (0.7)	△ 635	△ 6.8
住宅	6,172 (0.5)	6,037 (0.5)	△ 135	△ 2.2
他の政策分野	15,601 (1.3)	20,417 (1.7)	4,815	30.9

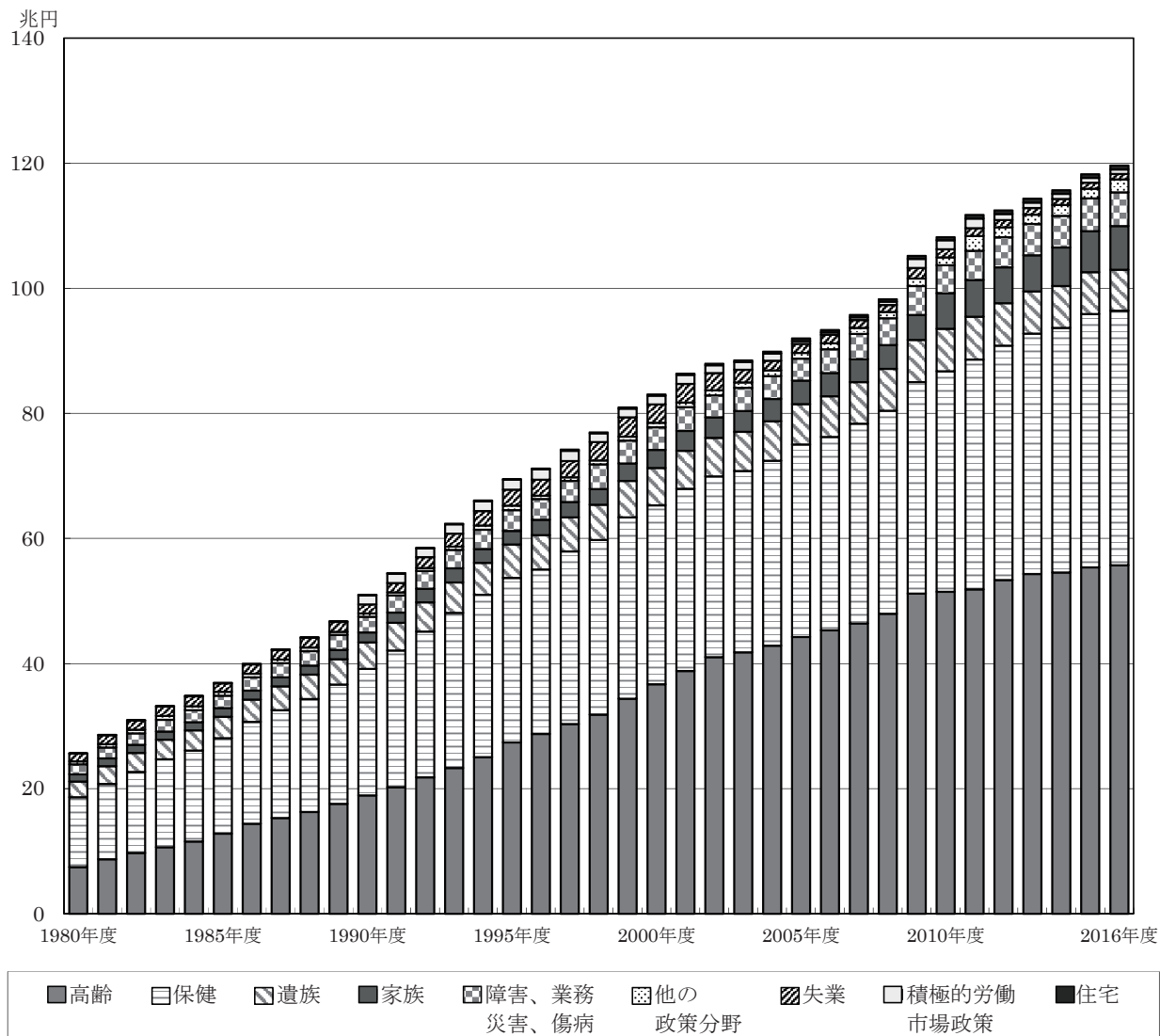
(注)

1. () 内は構成割合である。
2. 政策分野別の項目説明は、57・66頁を参照。

表5 政策分野別社会支出の対国内総生産比

社会支出	2015年度	2016年度	対前年度増加分
	%	%	%ポイント
合 計	22.15	22.19	0.03
高齢	10.37	10.34	△ 0.03
遺族	1.25	1.22	△ 0.03
障害、業務災害、傷病	0.99	1.00	0.02
保健	7.59	7.54	△ 0.05
家族	1.23	1.29	0.07
積極的労働市場政策	0.14	0.14	△ 0.00
失業	0.17	0.16	△ 0.01
住宅	0.12	0.11	△ 0.00
他の政策分野	0.29	0.38	0.09

図1 我が国の政策分野別社会支出の推移



(出所)

31頁「第1表 政策分野別社会支出の推移」より作成。

(2) 社会支出の国際比較

諸外国の社会支出を対国内総生産比でみると、2015年度時点でイギリスとおおよそ同水準にあり、アメリカよりは大きい、スウェーデンやフランス・ドイツなど大陸ヨーロッパ諸国に比べると小さくなっている。

図2 政策分野別社会支出の国際比較（2015年度）

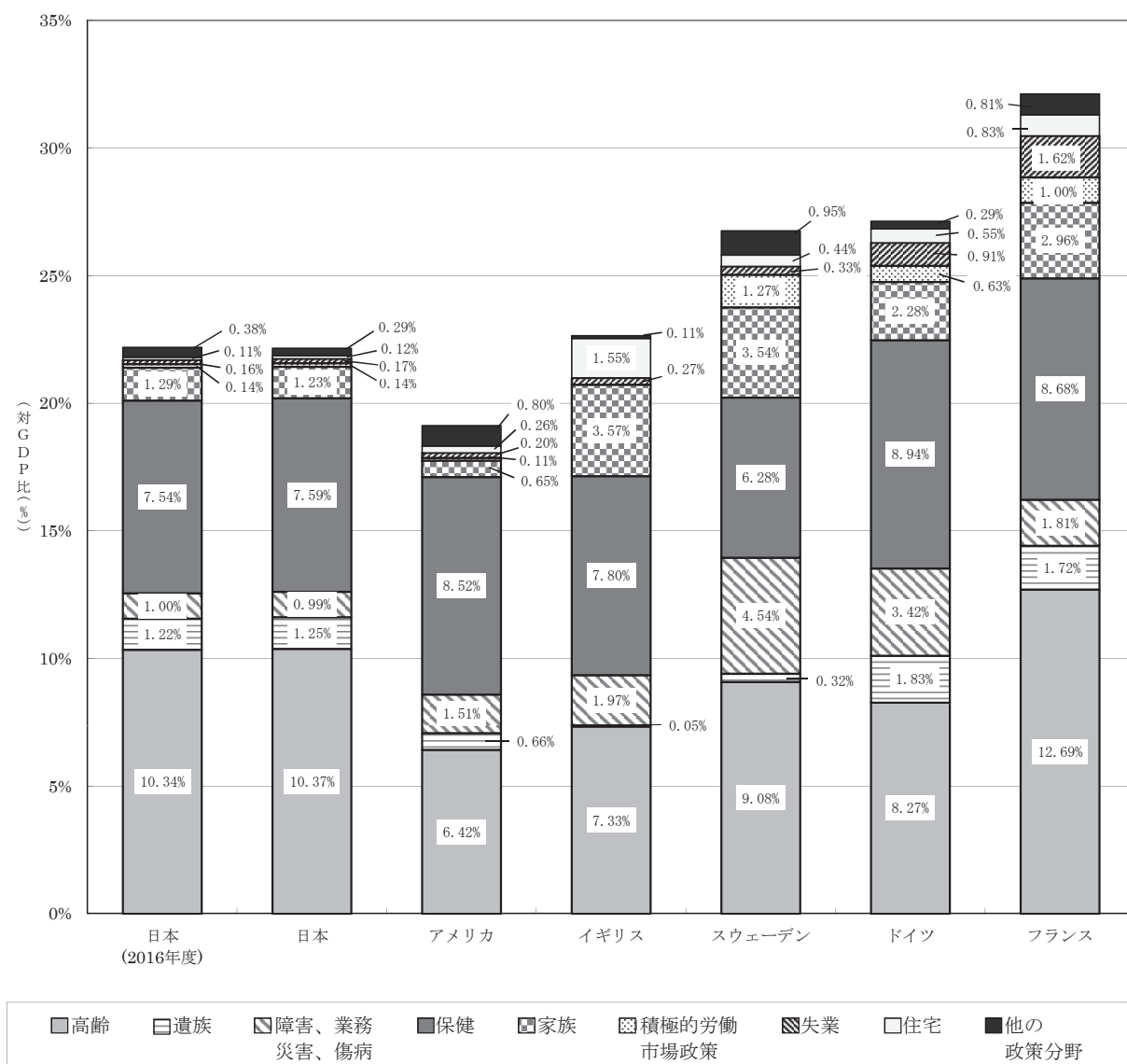


表6 社会支出の国際比較（2015年度）

社会支出	日本 (2016年度)	日本	アメリカ	イギリス	スウェーデン	ドイツ	フランス
社会支出 対国内総生産比	22.19%	22.15%	19.12%	22.65%	26.75%	27.13%	32.12%
(参考) 対国民所得比	30.54%	30.30%	23.83%	30.86%	41.43%	36.51%	45.48%

(資料) 諸外国の社会支出は、OECD Social Expenditure Database による。

(<http://www.oecd.org/els/social/expenditure>)

国内総生産・国民所得については、日本は内閣府「平成28年度国民経済計算年報」、諸外国はOECD National Accounts 2017 による。

(出所) 上記資料より国立社会保障・人口問題研究所が作成。

図3 政策分野別社会支出の構成割合の国際比較（2015年度）

